

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C201	商品プランニング I	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
上山 恵加		演習		
講義目的				
発想力とデザイン力を高め、企画力を身に付ける。自己ブランドを立案しリサーチ、企画提案力を学ぶ。グループワークを実施し、協調性やコミュニケーション力を醸成する。				
授業内容				
最新のトレンドテーマからデザインを発想し制作。グループに分かれショー形式で発表。自己ブランドを立案し、アパレル業界で必要なノウハウを学び企画力を身につける。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	ファッションショー企画	10	<ul style="list-style-type: none"> ・説明、グループ分け ・スケッチ、ターゲット決定、コンセプト立案 ・デザイン展開 ・アトリサーチからのデザイン展開 ・ディテールリサーチからのデザイン展開 ・デザイン確定、素材選び ・スタイリング展開 ・マップ作成 	
2	自己ブランド企画1	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドの方向性決定 ・購読雑誌、購読者分析 ・ターゲット分析 ・ブランドコンセプト設定 ・トレンドリサーチ ・JK 研究、グループ発表 ・競合店ショップリサーチ、定点観測 ・シーズンコンセプト決定 ・シーズンコンセプトからデザイン展開 ・各項目マップ作成 	
留意事項（履修条件他）				
欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
テーマからデザインまで一貫したストーリー構成でデザインを作成し、アパレル素材のノウハウを基に企画提案ができる。	テーマに沿ったデザインをトレンドも含めて提案する。 企業に合わせたデザインをリサーチ結果やトレンド情報を用いて企画し、ポートフォリオにまとめる。	作品提出を以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C201	商品プランニング I	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
上山 恵加		演習		
講義目的				
自己ブランドを立案し、リサーチ方法や企画提案力を学び、企業に向けた商品企画を提案する。				
授業内容				
自己ブランドを立案し、アパレル業界で必要なノウハウを学び企画力を身につける。 企画力を応用し、企業に向けてのデザイン提案を行う。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	コマ	学習課題	
1	自己ブランド企画 2	20	<ul style="list-style-type: none"> ・アートリサーチからのデザイン展開 ・ディテール、トレンドリサーチからのデザイン展開 ・デザイン確定、素材選び ・スタイリング展開 ・スタイリングマップ作成 ・パターン帳作成 ・各項目マップ作成 	
2	企業研究、企画提案	10	<ul style="list-style-type: none"> ・企業決定、グループで企業分析 ・グループでブランド分析 ・グループでショップリサーチ ・グループで商品分析 ・個人でトレンドリサーチ ・個人でシーズンコンセプト決定 ・個人でシーズンコンセプトからデザイン展開 ・個人でパソコンを使用しマップを作成 	
留意事項（履修条件他）				
欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
アパレル素材のノウハウを理解し、企画提案力を身につける。	企業に合わせたデザインをリサーチ結果やトレンド情報を用いて企画しポートフォリオにまとめる。	作品提出を以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C202	ファッションドローイングⅡ	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
(クラス別の担当) 松本 けい子、鹿島 茂樹		演習		
講義目的				
ファッションドローイングⅠで習得した基本をベースに、応用する能力を身に付ける。				
授業内容				
ファッションドローイングを写真やイラストと共にコラージュし、そのイメージを表現する方法を学ぶ。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	ファッションドローイング知識を広げる	様々なイラストレーターの作品に触れる		
2	ファッションドローイング知識を広げる	実践		
3	ファッションドローイングの基となるプロポーションを見直す	用途に応じたプロポーションを描く		
4	ファッションドローイングの基となるプロポーションを見直す	実践		
5	ファッションドローイングの応用 ①	ファッション写真をみてデッサン		
6	ファッションドローイングの応用 ①	着色		
7	ファッションドローイングの応用 ②	ファッション写真をみてデッサン		
8	ファッションドローイングの応用 ②	着色		
9	ファッションドローイングの応用 ③	ファッション写真をみてデッサン		
10	ファッションドローイングの応用 ③	着色		
11	ファッションドローイングの応用 ④	ファッション写真をみてデッサン		
12	ファッションドローイングの応用 ④	着色		
13	① ファッションドローイングのテイスト別表現	与えられたテーマの表現とデッサン		
14	ファッションドローイングのテイスト別表現	着色		
15	② ファッションドローイングのテイスト別表現	与えられたテーマの表現とデッサン		
16	ファッションドローイングのテイスト別表現	着色		
17	③ ファッションドローイングのテイスト別表現	与えられたテーマの表現とデッサン		
18	ファッションドローイングのテイスト別表現	着色		
19	④ ファッションドローイングのテイスト別表現	与えられたテーマの表現とデッサン		
20	ファッションドローイングのテイスト別表現	着色		
21	テーマのあるコレクション表現 ①	サマーショーの自身のコレクションを表現 ①		
22	テーマのあるコレクション表現 ①	応用		
23	テーマのあるコレクション表現 ②	サマーショーの自身のコレクションを表現 ②		
24	テーマのあるコレクション表現 ②	応用		
25	① デザイン画コンテストに参加	テーマに基づきコンセプトを立案		
26	デザイン画コンテストに参加	資料を収集しレイアウトを考えてラフスケッチ		
27	② デザイン画コンテストに参加	下絵と着色		
28	デザイン画コンテストに参加	完成		
29	ファッションドローイングの応用・まとめ ①	時間内で表現したものを描いてみる ①		
30	ファッションドローイングの応用・まとめ ②	時間内で表現したものを描いてみる ②		
留意事項 (履修条件他)				
繰り返し練習することが上達の必須条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。 欠席した場合は、次回の授業までに課題を終わらせておくこと。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座4 ファッションデザイン画」(文化出版局)				
最終到達目標		学習法	評価方法	
服の構造を正確に描けるようになる。		様々な画材に挑戦し、表現力の向上を目指す。	提出課題を以て総合的に評価する	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C202	ファッションドローイングⅡ	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
(クラス別の担当) 松本 けい子、鹿島 茂樹		演習		
講義目的				
ファッションドローイングⅠで習得した基本をベースに、応用する能力を身に付ける。				
授業内容				
ファッションドローイングの表現にバリエーションを持たせ、表現の幅を広げる。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	① ファッション画コンクール	与えられたテーマよりスケッチ・コンセプト立案・デザイン決定		
2	ファッション画コンクール	与えられたテーマよりスケッチ・コンセプト立案・デザイン決定		
3	② ファッション画コンクール	レイアウトを考え、下絵から着色、完成まで		
4	ファッション画コンクール	レイアウトを考え、下絵から着色、完成まで		
5	メンズを描く ①	メンズのプロポーションを年齢別で表現		
6	メンズを描く ①	メンズのプロポーションを年齢別で表現		
7	メンズを描く ②	メンズの着装画をテイスト別で表現		
8	メンズを描く ②	メンズの着装画をテイスト別で表現		
9	子供を描く ①	子供のプロポーションを年齢別で表現		
10	子供を描く ①	子供のプロポーションを年齢別で表現		
11	子供を描く ②	子供の着装画をテイスト別で表現		
12	子供を描く ②	子供の着装画をテイスト別で表現		
13	KIRIGA ①	与えられたテーマを切り画で制作 ①		
14	KIRIGA ①	与えられたテーマを切り画で制作 ①		
15	KIRIGA ②	与えられたテーマを切り画で制作 ②		
16	KIRIGA ②	与えられたテーマを切り画で制作 ②		
17	① 画面構成	シーン設定、ライフスタイルのデッサン・着色 ①		
18	画面構成	シーン設定、ライフスタイルのデッサン・着色 ①		
19	② 画面構成	シーン設定、ライフスタイルのデッサン・着色 ②		
20	画面構成	シーン設定、ライフスタイルのデッサン・着色 ②		
21	③ 画面構成	シーン設定、ライフスタイルのデッサン・着色 ③		
22	画面構成	シーン設定、ライフスタイルのデッサン・着色 ③		
23	④ 画面構成	シーン設定、ライフスタイルのデッサン・着色 ④		
24	画面構成	シーン設定、ライフスタイルのデッサン・着色 ④		
25	テーマのあるコレクション表現 ①	自身のコレクションを表現 ①		
26	テーマのあるコレクション表現 ①	自身のコレクションを表現 ①		
27	テーマのあるコレクション表現 ②	自身のコレクションを表現 ②		
28	テーマのあるコレクション表現 ②	自身のコレクションを表現 ②		
29	ファッションドローイング 早描き	テーマを決め、複数体を時間内に完成させる		
30	ファッションドローイング 早描き	テーマを決め、複数体を時間内に完成させる		
留意事項 (履修条件他)				
繰り返し練習することが上達の必須条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。 欠席した場合は、次回の授業までに課題を終わらせておくこと。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座4 ファッションデザイン画」(文化出版局)				
最終到達目標	学習法	評価方法		
パターンに落とし込めるファッション画を描けるようになる。	表現力の向上を目指す。	提出課題を以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C203	パターンプロダクトⅡ	2年/前期	6	必修
担当教員		科目区分		
加藤 弘子		演習		
講義目的				
アパレル製品の重衣料について基礎知識を学び、体型やデザインに応じたデザインパターンへの応用を学ぶ。				
授業内容				
テーラードジャケット平面製図の基礎知識 ジャケット・コートの各種デザインの製図・工業用パターン				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ジャケットスローパー	4	ジャケットの基本製図法	
2	ジャケット	4	2面体ジャケット製図法	
3	ジャケット	4	4面体ジャケット製図法	
4	ジャケット	2	3面体ジャケット製図法	
5	ジャケット	2	3面体ジャケット製図法	
6	サマーショー作品製作	28	ファーストパターン製作	
7	サマーショー作品製作	4	トワールチェック①	
8	サマーショー作品製作	8	修正・トワールチェック②	
9	サマーショー作品製作	8	工業用パターン	
10	ジャケット	4	プリンセスラインジャケット製図法	
11	ジャケット	4	バトルジャケット製図法	
12	フード	1	フードの原理と基本製図法	
13	ラグランスリーブ	1	ラグラン袖の原理と基本製図法	
14	4面体ジャケット実寸	6	4面体ジャケット実寸製作	
15	ジャケット	10	ジャケットの工業用パターン製図法	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「工業用パターンメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
ジャケット・コートについて基本製図方法を習得し多種多様な重衣料のデザインに対応したパターンメイキングができる。	講義 課題作成	提出課題と授業内テストを以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C203	パターンプロダクトⅡ	2年/後期	6	必修
担当教員		科目区分		
加藤 弘子		演習		
講義目的				
アパレル製品の重衣料について基礎知識を学び、体型やデザインに応じたデザインパターンへの応用を学ぶ。				
授業内容				
テーラードジャケット平面製図の基礎知識 ジャケット・コートの各種デザインの製図・工業用パターン				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ジャケット	4	ラグランジャケット	
2	ラグランコート工業用	10	コート工業用パターン製図法	
3	テスト	2	工業用製図法テスト	
4	テスト	4	ジャケットパターンメイキングテスト	
5	修了作品展	2	モデル体型採寸	
6	修了作品展	10	ジャケットファーストパターン作成	
7	修了作品展	10	ボトムファーストパターン作成	
8	修了作品展	2	トワールチェック①	
9	修了作品展	6	パターン修正	
10	修了作品展	2	トワールチェック②	
11	修了作品展	10	工業用パターン作成	
12	修了作品展	14	工業用パターンチェック・修正	
13	コート原型	2	コートの基本製図法	
14	コート	4	ラグランコート製図法	
15	コート	8	トレンチコート製図法	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「工業用パターンメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
ジャケット・コートについて基本製図方法を習得し多種多様な重衣料のデザインに対応したパターンメイキングができる。	講義 課題作成	提出課題と授業内テストを以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C204	サンプルメイキングⅡ	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
古城 明子		演習		
講義目的				
ジャケットやコートの縫製を学ぶことで厚みの展開方法やシルエットを意識したアイロンテクニック方法、副資材の意味などを理解し応用力を養う。				
授業内容				
薄物素材や別珍、カットソー素材などの縫製技術の習得。 ポケット、衿付け始末方法、副資材の使い方を学び、作品制作までを行う。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	薄物部分縫い	2	薄物の縫製 縫製仕様5種類接ぎ合せ	
2	薄物ブラウス部分縫い	2	衿付け パイピングと裏バイヤス始末	
3	テーラードカラー付きベスト	2	伸び止めテープの貼り方 ダーツ割り始末	
4	テーラードカラー付きベスト	2	両玉縁ポケット	
5	テーラードカラー付きベスト	2	身頃組み立て	
6	テーラードカラー付きベスト	2	衿付け	
7	テーラードカラー付きベスト	2	どんでん始末	
8	サマーショー作品	2	縫製①②	
9	サマーショー作品	2	縫製③④	
10	サマーショー作品	2	縫製⑤⑥	
11	サマーショー作品	2	縫製⑦⑧	
12	サマーショー作品	2	縫製⑨⑩	
13	Tシャツ	2	裁断の仕方 2本針裏飾りミシンの使い方	
14	ラグランコート	2	伸び止めテープの貼り方 身頃組み立て	
15	ラグランコート	2	裏地組み立て ロックミシン	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
いろいろな素材の縫製技術を習得。ベスト、コート、ジャケットを作りあげることができる	講義 課題作成	部分縫い、完成作品の提出を以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C204	サンプルメイキングⅡ	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
古城 明子		演習		
講義目的				
ジャケットやコートの縫製を学ぶことで厚みの展開方法やシルエットを意識したアイロンテクニック方法、副資材の意味などを理解し応用力を養う。				
授業内容				
薄物素材や別珍、カットソー素材などの縫製技術の習得。 ポケット、衿付け始末方法、副資材の使い方を学び、作品制作までを行う。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	ラグランコート	2	箱ポケット付け	
2	ラグランコート	2	身頃組み立て	
3	ラグランコート	2	衿付け 中とじ	
4	ラグランコート	2	袖口縫い合わせ	
5	ラグランコート	2	ベンツ	
6	ラグランコート	2	肩パット付け ふらし始末	
7	テーラードジャケット	2	伸び止めテープ貼り 身頃組み立て	
8	テーラードジャケット	2	肩増し芯付け	
9	テーラードジャケット	2	フラップ付き片玉縁ポケット	
10	テーラードジャケット	2	身頃組み立て	
11	テーラードジャケット	2	衿付け 中とじ	
12	テーラードジャケット	2	袖作り	
13	テーラードジャケット	2	袖付け ゆき綿付け	
14	テーラードジャケット	2	肩パット付け どんでん始末	
15	デザインジャケット	2	縫製①②③④⑤	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
いろいろな素材の縫製技術を習得。ベスト、コート、ジャケットを作りあげることができる	講義 課題作成	部分縫い、完成作品の提出を以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C205	立体裁断Ⅱ	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
濱崎 幸子		演習		
講義目的				
身体（立体）の構造を理解しダーツの適切な分量を知る 地の目の必要性を学ぶ				
授業内容				
ボディ（人体）とトワル（地直しされたシーティング）を使い 立体構造を確認しながら アイテムをドレーピングによって製作し、平面パターンとして落とし込む				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	ストレートスカート①（ダーツとは？）	1年目で学んだドレーピングの復習		
2	ストレートスカート②ドレーピングチェック	ダーツの長さや分量の意味を理解する		
3	Aラインスカート①（ダーツの処理方法①）	2本ダーツのストレートスカートからの展開を学ぶ		
4	Aラインスカート②	1本をフレア一分として裾に展開する方法を学ぶ		
5	Aラインスカート③ドレーピングチェック	ベルトパターンを理解する		
6	Aラインスカート④トレース	平面製図に落とし込む		
7	デザインスカート①（ダーツの処理方法②）	デザイン線を使ってダーツを処理する方法を学ぶ		
8	デザインスカート②	地の目を理解する		
9	デザインスカート③	トワルの扱いを学ぶ		
10	デザインスカート④ドレーピングチェック	トワルの扱いを学ぶ		
11	デザインスカート⑤トレース	平面製図に落とし込む		
12	デザインスカート⑥トレース	記号や合印を理解する		
13	基本のブラウス①（サイドダーツ、オープンカラー）	バストでのゆとりの取り方		
14	基本のブラウス②	バストダーツの考え方（シルエットの作り方を学ぶ）		
15	基本のブラウス③	衿のドレーピング方法を学ぶ		
16	基本のブラウス④	ピンニングを学ぶ		
17	基本のブラウス⑤	適切なマーキング（印付け）を理解する		
18	基本のブラウス⑥	組み立てたものの平面での修正を学ぶ		
19	基本のブラウス⑦	組み立てたものの平面での修正を学ぶ		
20	基本のブラウス⑧	組み立てたものの平面での修正を学ぶ		
21	基本のブラウス⑨袖を組み立てる	袖は平面製図、イセを理解する		
22	基本のブラウス⑩ドレーピングチェック	袖は平面製図、イセを理解する		
23	基本のブラウス⑪トレース	トレースしたものを平面製図に落とし込む		
24	基本のブラウス⑫トレース	トレースのチェック方法を学ぶ		
25	4面体テーラードジャケットのドレーピング①	肩パットの設置やボディテープなどの使用方法を学ぶ		
26	4面体テーラードジャケットのドレーピング②	ジャケットのゆとりと構造を理解する		
27	4面体テーラードジャケットのドレーピング③	シルエットを作る手順を学ぶ		
28	4面体テーラードジャケットのドレーピング④	各パーツの地の目の大切さを理解する		
29	4面体テーラードジャケットのドレーピング⑤	衿の構造、パターンとのリンクを学ぶ		
30	4面体テーラードジャケットのドレーピング⑥	ポケットやボタンなどのバランスを見る目を養う		
留意事項（履修条件他）				

教材		
文化服装学院編「立体的裁断・基礎編」(文化服装学院)		
最終到達目標	学習法	評価方法
平面製図とドレーピングのリンクができる(ドレーピングで制作したものを平面製図として落とし込める力を付け)ものを見る目を養う	立体構造に対する講義内容を踏まえて実技を行う	実技点および提出課題によって評価

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C205	立体的裁断Ⅱ	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
濱崎 幸子		演習		
講義目的				
身体(立体)の構造を理解しダーツの適切な分量を知る地の目の必要性を学ぶ				
授業内容				
ボディー(人体)とトワル(地直しされたシーチング)を使い立体的構造を確認しながらアイテムをドレーピングによって製作し、平面パターンとして落とし込む				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	4面体ジャケット	2枚袖製図・トレース		
2	4面体ジャケット	2枚袖製図・トレース		
3	4面体ジャケット	ドレーピングチェック		
4	4面体ジャケット	ドレーピングチェック		
5	4面体ジャケット	完成パターンチェック		
6	4面体ジャケット	完成パターンチェック		
7	プリンセスラインジャケット	身頃ドレーピング		
8	プリンセスラインジャケット	身頃ドレーピング		
9	プリンセスラインジャケット	衿ドレーピング		
10	プリンセスラインジャケット	衿ドレーピング		
11	プリンセスラインジャケット	袖ドレーピング		
12	プリンセスラインジャケット	袖ドレーピング		
13	プリンセスラインジャケット	ドレーピングチェック		
14	プリンセスラインジャケット	ドレーピングチェック		
15	プリンセスラインジャケット	完成パターンチェック		
16	プリンセスラインジャケット	完成パターンチェック		
17	テスト(4面体ベスト150分)	テスト・残り30分で次回のデザイン出し		
18	テスト(4面体ベスト150分)	テスト・残り30分で次回のデザイン出し		

19	修了作品(デザインワンピース)	各自コレクション雑誌からデザインのセレクト
20	修了作品(デザインワンピース)	各自コレクション雑誌からデザインのセレクト
21	修了作品(デザインワンピース)	各自コレクション雑誌からデザインのセレクト
22	修了作品(デザインワンピース)	各自コレクション雑誌からデザインのセレクト
23	修了作品(デザインワンピース)	(袖なし・衿なし)
24	修了作品(デザインワンピース)	(袖なし・衿なし)
25	修了作品(デザインワンピース)	ドレーピングチェック
26	修了作品(デザインワンピース)	ドレーピングチェック
27	修了作品(デザインワンピース)	完成パターンチェック
28	修了作品(デザインワンピース)	完成パターンチェック
29	修了作品(デザインワンピース)	完成パターンチェック
30	修了作品(デザインワンピース)	完成パターンチェック

留意事項(履修条件他)

教材

文化服装学院編「立体的裁断・基礎編」(文化服装学院)

最終到達目標	学習法	評価方法
平面製図とドレーピングのリンクができる(ドレーピングで制作したものを平面製図として落とし込める力を付け)ものを見る目を養う	立体構造に対する講義内容を踏まえて実技を行う	実技点および提出課題によって評価

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C207	アパレル素材知識Ⅱ	2年/前期	1	必修
担当教員		科目区分		
栗原 なおみ		講義		
講義目的				
素材の成り立ちや特性を理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。				
授業内容				
素材知識Ⅰで習得した基礎知識から、素材の染色や加工、柄等の応用編となる。工場見学を組み込み、実際の工程を体験することでより興味を深める。皮革、レースなどの特殊素材もサンプルを触り実感しながら履修。マップは、基礎の作業からトレンドに沿った感性のマップへ移行。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	染色	先染		
2	染色	後染		
3	染色	プリント		
4	染色・課題	提出課題① 染色マップ		
5	染色・課題	提出課題① 染色マップ		
6	染色・テスト	染色について		
7	加工	整理仕上げ加工		
8	加工	特殊な性能を与える加工		
9	加工	外観・風合いを変える加工		
10	加工・課題	提出課題② 加工マップ		
11	加工・課題	提出課題② 加工マップ		
12	柄	柄分類・プリント柄の分類		
13	柄	その他の柄		
14	柄・テスト	加工・柄について		
15	復習	復習		
留意事項（履修条件他）				
コレクションや市場で素材トレンドを意識する習慣付ける。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」（文化服装学院） 成田典子編「テキスタイル用語辞典」（テキスタイル・ツリー） 関間正雄編「テキスタイルハンドブック」（文化服装学院）				
最終到達目標	学習法		評価方法	
素材特性の理解と、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明、手入れが出来る。	講義 課題制作		提出課題、テストを以て総合的に評価する	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C207	アパレル素材知識Ⅱ	2年/後期	1	必修
担当教員		科目区分		
栗原 なおみ		講義		
講義目的				
素材の成り立ちや特性を理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。				
授業内容				
素材知識Ⅰで習得した基礎知識から、素材の染色や加工、柄等の応用編となる。工場見学を組み込み、実際の工程を体験することでより興味を深める。皮革、レースなどの特殊素材もサンプルを触り実感しながら履修。マップは、基礎の作業からトレンドに沿った感性のマップへ移行。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	工場見学	毛織物工場にて、紡績～染色加工工程を見学		
2	その他の素材【レース】	レースの分類と特徴		
3	その他の素材【天然皮革】	天然皮革の基礎知識 分類と特徴		
4	その他の素材【人造皮革】	人造皮革の基礎知識 分類と特徴		
5	その他の素材【毛皮・羽毛】	毛皮・羽毛の基礎知識 分類と特徴		
6	その他の素材【アクセサリ・副資材】	アクセサリ素材、副資材 分類と特徴		
7	素材の感性	素材の感性を表す専門用語		
8	素材の感性・課題	提出課題③ 素材の感性 プリント		
9	素材の感性・課題	提出課題③ 素材の感性 プリント		
10	素材のトレンド分析	コレクションからのトレンド分析		
11	素材のトレンド分析・課題	提出課題④ トrend分析マップ		
12	素材のトレンド分析・課題	提出課題④ トrend分析マップ		
13	素材のトレンド分析・プレゼンテーション	プレゼンテーションと評価		
14	総復習	1年次からの復習		
15	総復習ドリル・課題	提出課題⑤ 素材知識ドリル		
留意事項（履修条件他）				
コレクションや市場で素材トレンドを意識する習慣付ける。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」（文化服装学院） 成田典子編「テキスタイル用語辞典」（テキスタイル・ツリー） 閻間正雄編「テキスタイルハンドブック」（文化服装学院）				
最終到達目標	学習法		評価方法	
素材特性の理解と、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明、手入れが出来る。	講義 課題作成		提出課題、テストを以て総合的に評価する	

授業コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C208	DTP	2年/前期	1	選択
担当教員 齊藤 佳孝		科目区分 演習		
講義目的				
<p>アパレル業界において広く利用されている、コンピューターによるデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルは必須である。業界標準的に使われている「Adobe イラストレーター、フォトショップ」操作の基本と活用方法を学び、スキル向上をはかる。</p>				
授業内容				
<p>Adobe イラストレーター、フォトショップを使用し、ファッションに関連した教材を使って、段階的に操作方法を身に付け、アパレル業界で行われる各種作業に対応する活用力を身に付ける。</p>				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	フォトショップ基本操作 写真素材切り取り	画像から不要な部分の削除の方法説明と練習		
2	コラージュによるファッションマップ作成	レイヤーを使って素材データを組み合わせる		
3	コラージュによるファッションマップ作成	画面レイアウトのポイント		
4	コラージュによるファッションマップ作成	フォントの効果的な使い方		
5	スタイル画の着色	着色・補正・シャドウハイライトの作り方		
6	スタイル画の着色	生地をスタイル画へ埋め込む方法		
7	スタイル画の着色	各自が描いたスタイル画の着色		
8	スタイル画をマップにまとめる	スタイル画のイメージに合うマップ作成		
9	コレクションポートフォリオ	マイコレクションのポートフォリオをDTPで作成する		
10	コレクションポートフォリオ	絵コンテ作成 デザインフォーマットの作成		
11	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
12	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
13	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
14	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
15	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
留意事項（履修条件他）				
<p>興味をもって課題練習に取り組み、操作を覚えられるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席（公欠の場合も）等で授業に遅れた時は、次の授業時間までに、必ず自習しておくこと。</p>				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
<p>Adobe イラストレーター、フォトショップを操作して、スタイル画の着色、ハンガーイラストの作成ができ、カラー、素材の違いなども効率よく表現できる。</p>	<p>Apple コンピューターを使用した実技</p>	<p>定期課題 (50%) 小課題 (50%) ※課題内容、提出等については授業内で説明</p>		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C213	ニット造形 I	2年/前期	2	選択
担当教員 中村 紗希		科目区分 演習		
講義目的				
1本の糸から作られる編み柄や編み記号の読み方をハンドニットで学び、ニットのデザイン発想力が膨らむ事を目的とし、それらの知識を生かして、ニット作品を制作。				
授業内容				
棒針・かぎ針の基本的な編み方を学び、編み地の目数計算からミニベストの制作。 モチーフつなぎの小物を制作。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	編み物について	2	用具についての説明・目の作り方の説明	
2	棒針編みの基本編み	2	表編み・裏編み・リブ編み・ガーター編み	
3	棒針編みの応用（配色編み）	2	配色編み（方眼目にて柄を考える）	
4	棒針編みの応用（寄せ編み）	2	寄せ編み（プリントから柄を選択して編む）	
5	かぎ針編みの基本①	2	目の作り方から基本の編み方	
6	かぎ針編みの基本②	2	細編み・長編み・長々編み	
7	かぎ針編みの応用	2	モチーフ編み	
8	ミニベスト編み（計算式）	2	目数計算の割り出し方	
9	ミニベスト編み（編み出し）	2	身頃を編む	
10	ミニベスト編み（袖くり減らし目計算）	2	袖くりの減らし計算とパターン作成	
11	ミニベスト編み（袖くりを編む）	2	袖くりを編む	
12	ミニベスト編み（衿くり減らし計算）	2	衿ぐりの減らし計算とパターン作成	
13	ミニベスト編み（衿くりを編む）	2	衿くりを編む	
14	ミニベスト編み（組み立て）	2	脇の縫い合わせ	
15	モチーフ繋ぎの編み方	2	モチーフのつなげ方	
留意事項（履修条件他）				
編み方の練習を繰り返し行うことで作品の仕上がりが上達する。時間外の取り組みも大切。				
教材				
棒針・かぎ針				
最終到達目標		学習法	評価方法	
ハンドニットの基礎となる編み柄や編み記号を理解し、手編みの作品制作ができる。		講義 課題作成	作品提出を以て総合的に評価する	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C213	ニット造形 I	2年/後期	2	選択
担当教員		科目区分		
中村 紗希		演習		
講義目的				
1本の糸から作られる編み柄や編み記号の読み方をハンドニットで学び、ニットのデザイン発想力が膨らむ事を目的とし、それらの知識を生かして、ニット作品を制作。				
授業内容				
ニット独自の糸の風合いや編地柄の特徴を理解しニット素材を取り込んだデザインジャケットの製作をする。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	モチーフ小物	2	モチーフ繋ぎの小物作成	
2	モヘアコンテスト (デザイン)	2	デザイン画に沿って編み方を考える	
3	モヘアコンテスト (計算)	2	目数計算	
4	モヘアコンテスト (作品制作)	2	作品制作	
5	モヘアコンテスト (完成チェック)	2	完成チェック。	
6	モヘアコンテスト (完成前修正)	2	修正チェック	
7	モヘアコンテスト (完成)	2	写真撮影	
8	修了作品制作 (デザイン考案)	2	スタイル画を描く	
9	修了作品制作 (編地考案)	2	イメージ写真コラージュ	
10	修了作品制作 (マップ作成)	2	編み地コラージュ作成	
11	修了作品制作 (マップ完成)	2	コラージュのプレゼンテーション	
12	修了作品制作 (パターン)	2	ニットパターン作成	
13	修了作品制作 (作品制作)	2	パーツを編む	
14	修了作品制作 (組み立て)	2	編地の縫い合わせ	
15	修了作品制作 (完成)	2	完成チェック及び修正	
留意事項 (履修条件他)				
編み方の練習を繰り返し行うことで作品の仕上がりが上達する。時間外の取り組みも大切。				
教材				
棒針・カギ針				
最終到達目標	学習法		評価方法	
ニット独自の糸の風合いや編地柄の特徴を理解し、オリジナリティのあるニット柄を考え、作品を作ることができる。	講義 課題作成		作品提出を以て総合的に評価する	

授業コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C218	ビジネスコミュニケーション I	2年/後期	1	必修
担当教員 齊藤 佳孝		科目区分 講義		
講義目的				
ファッションビジネスの現場において求められる社会人基礎能力を身につけるための講義・実践を通して理解、習得する。				
授業内容				
まず、初めに一般的な職種とアパレル技術職で求められる就職活動の相違点を説明。各種書類につながる自己分析を通して各自のアピールポイントや職業観を確立する。また、業界で活躍する先輩社員から実際の仕事内容についての話を聞き、将来自分が働くイメージを醸成し、翌年スタートする就職活動に向けて準備していく。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	就職ガイダンス	就職活動の進め方についての説明		
2	自己分析	振り返りシート・強みの作成		
3	コミュニケーションワーク	グループディスカッション		
4	コミュニケーションワーク	グループディスカッション		
5	書類作成	職業観作成		
6	業界研究	現在のアパレル業界についての講義		
7	業界研究	技術職の仕事についての講義		
8	業界研究	技術職の仕事についての講義		
9	情報収集	先輩とのディスカッション		
10	情報収集	第一印象の重要性についての講義		
11	企業分析	求人企業の傾向について		
12	面接について	面接のポイント説明と実践		
13	書類を作成する上でのポイント	履歴書について		
14	書類を作成する上でのポイント	エントリーシートについて		
15	まとめ	半年間の活動をまとめ就職活動のスタートに備える		
留意事項(履修条件他)				
教材				
最終到達目標		学習法	評価方法	
就職活動に必要な書類作成のための自己分析。 業界情報や先輩社員からの情報を受け職業観の確立。 履歴書やエントリーシートなどの基本的な書類が作成できる。		講義・グループワーク	定期課題(100%)	